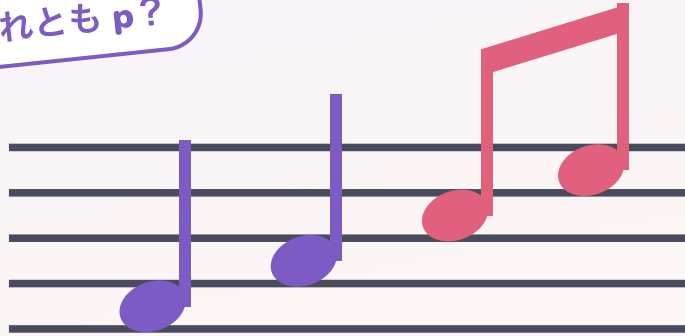


f? それとも p?



だんだん強く...!

強弱記号

音の大きさ・小ささを読みとろう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

音の強さのきほん	3～9
強弱の記号	10～14
音楽で表現する	15～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

強弱ってなに？

音楽には、音の大きい・小さいの表現があります。

強弱（きょうじゃく）とは、音の大きさ・小ささのことです。同じメロディでも、強く演奏するか弱く演奏するかで、印象がまったく変わります。
楽譜には、強弱を表す記号が書かれています。この記号を読み取ることで、作った人の思いに近づけます。



強弱記号の例

p（弱く）

f（強く）

mp

mf

pp

ff

クレッシェンド

デクレッシェンド

これから1つずつ、意味を確かめていきます。

ポイント

- 強弱は、イタリア語の頭文字を使って表すことが多いです。
- 強弱を変えるだけで、同じ曲でもちがう表情になります。

やってみよう

1. 同じ言葉を、小さい声と大きい声で言ってみよう。印象はどう変わりましたか。

書いて覚えよう

Lesson
2

p（ピアノ）

pは「弱く」を表す記号です。

p（ピアノ）

piano

弱く、やさしく演奏する



Ken

弱く、やさしく演奏する印だね。

Emma

楽譜にpって書いてあるね。



ポイント

- pは、イタリア語「piano（弱く）」の頭文字です。
- 楽器のピアノとは別の意味なので、混同しないようにしましょう。

やってみよう

1. 「静かに、そっと」という気持ちで、好きなフレーズを小声で歌ってみよう。

書いて覚えよう

f（フォルテ）

fは「強く」を表す記号です。

f（フォルテ）

forte

強く、力強く演奏する



Ken

fは、pの反対で強くだね。

Emma

そう。元気いっぱい演奏する印だよ。



ポイント

- fは、イタリア語「forte（強く）」の頭文字です。
- 強く演奏するといっても、乱暴にたたくのとはちがいます。

やってみよう

1. 「元気いっぱい」という気持ちで、好きなフレーズを大きな声で歌ってみよう。

書いて覚えよう

mp・mfは、pとfの中間の強さです。

やや弱く

やや強く

- 「mezzo (メゾ)」は、イタリア語で「半分」「中くらい」という意味です。
- mpはpより少し強く、mfはfより少し弱い強さです。

1. p・mp・mf・fの順に、少しずつ声を大きくして数を数えてみよう（1・2・3・4）。

とても弱く

とても強く

- pやfの文字を重ねると、その意味がさらに強調されます。
- ppはささやくように、ffは思いきり力強くという意味になります。

1. p・pp、f・ffを、それぞれくらべて声に出してみよう。ちがいを感じられましたか。

7

少しずつ弱くなる変化も、記号で表せます。

decrecendo (decresc.)

だんだん弱くする。ディミヌエンド (diminuendo) ともいう

- デクレッシェンドは、左が開いて右がとじる「>」の形の記号でも表されます。
- 音が消えていくように、なめらかに弱くしていきます。

1. 「ドー」を1音、大きな声から少しずつ小さな声にのばしてみよう。

1つの音だけを強調する記号もあります。

> の記号

その音だけを目立たせる

1音だけの強調

sfz

急に強く、目立たせる

その音だけ急に強くひびかせる

- どちらも、まわりの音より1音だけを目立たせる記号です。
- スフォルツァンドは、アクセントよりさらに強い印象を与えます。

1. 「タン・タン・タン・タン」の3番目だけ、強く手をたたいてみよう。

[illegible]

強弱で気持ちが変わる

強弱は、音楽の気持ちを表す大切な要素です。

強弱	感じられる気持ちの例	使われる場面
pp・p	静か、やさしい、ないしょ話	曲の始まりや、しずかな場面
mp・mf	おだやか、ふつう	落ち着いた場面
f・ff	元気、力強い、さけぶような	もりあがる場面

ポイント

- 同じメロディでも、強弱がちがうと伝わる気持ちが変わります。
- 作曲した人は、強弱を使って伝えたい気持ちを表しています。

やってみよう

1. うれしい気持ちと、悲しい気持ち、それぞれの強弱が合うと思いますか。

書いて覚えよう

歌うときにも、強弱を意識してみましょう。



大きい声で歌うのは得意だけど、小さい声で歌うのはむずかしいな。



小さい声でも、はっきり歌う練習をすると上手になるよ。

- 大きい声は、のどをしめつけず、おなかから息を出すことを意識しましょう。
- 小さい声でも、息をしっかりと使うと、ぼやけずはっきり伝わります。

1. 好きな歌を1フレーズ、fで歌った後、同じフレーズをpで歌ってみよう。

ワンポイント 大きな声を出しすぎると、のどを痛めることがあります。無理のない範囲で練習しましょう。

けんばんを強くおす・やさしくおす

息の量を強くする・弱くする

強くたく・やさしくたく

弦を強くはじく・やさしくはじく

大きくふる・小さくふる

強くたく・やさしくたく

- 楽器の種類によって、強弱の出し方はさまざまです。
- 力の強さだけでなく、息の量や手首の使い方で強弱が変わります。

1. 身近な物を1つえらび、強くたたく音と弱くたたく音をくらべてみよう。

強弱記号の読み方

強弱記号を、まとめて読めるようになろう。

記号	読み方	意味
pp	ピアニッシモ	とても弱く
p	ピアノ	弱く
mp	メゾピアノ	やや弱く
mf	メゾフォルテ	やや強く
f	フォルテ	強く
ff	フォルティッシモ	とても強く

やってみよう

1. 弱い順に、上の6つの記号を声に出して読んでみよう。

書いて覚えよう

強弱の差を、はっきり出すコツを知ろう。

実際の曲で、強弱の変化を探してみよう。

- 合唱曲やオーケストラの曲には、強弱の変化が豊かなものが多いです。
- 曲の始まりと、いちばん盛りあがるところを聴きくらべると、強弱の変化に気づきやすくなります。

やってみよう

2. その曲の中で、いちばん弱く（静かに）感じる場所はどこですか。

書いて覚えよう

強弱を意識すると、表現がぐっと豊かになります。

強弱記号クイズ

強弱記号を、しっかり覚えられたか確認しよう。

強弱記号クイズ

1. pの意味は？ _____
2. fの意味は？ _____
3. クレッシュェンドの意味は？ _____
4. mpとmfでは、どちらが強い？ _____

ポイント

- 答え合わせをして、まちがえたところをもう一度確認しましょう。

書いて覚えよう

自分で強弱をつける

知っている曲に、自分で強弱をつけてみよう。

曲名

始まりの強弱

もりあがりの強弱

終わりの強弱

理由

Emma の例

曲名 ちょうちょう／始まりの強弱 mp／もりあがりの強弱 f／終わりの強弱 p／理由 最後はそっと
終わりたいから

ポイント

- 正解は1つではありません。自分がどう感じるかを大切にしましょう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

強弱を、体と声で表現してみよう。

- A (p で) そっと手をたたく
- B (まねして) そっと手をたたく
- A (クレッシェンド) だんだん強く手をたたく
- B (まねして)

ポイント

- ペアで強弱の変化をまねし合うと、感覚がつかみやすくなります。
- うまくそろわなくても、何度もくり返すうちに合ってきます。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達へのステップです。

つまずき

よくあること

pが弱すぎて聞こえない

小声すぎて伝わらない

fが乱暴になる

力任せに大きな声を出す

コツ

こうしてみよう

息をしっかり使う

小さくてもはっきり出す

おなかから声を出す

のどに力を入れすぎない

ポイント

- 強弱は、大きさだけでなく、息の使い方にもコツがあります。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

基本の強弱

☐ **p**

弱く

☐ **f**

強く

☐ **mp・mf**

やや弱く・やや強く

強調した強弱

☐ **pp**

とても弱く

☐ **ff**

とても強く

☐ **アクセント**

その音だけ強調する

変化する強弱

☐ **クレッシェンド**

だんだん強く

☐ **デクレッシェンド**

だんだん弱く

☐ **スフォルツァンド**

急に強く

表現の言葉

☐ **強弱**

音の大きさ・小ささ

☐ **表現**

気持ちを音で伝えること

☐ **読み方**

記号の意味を知ること

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。記号を知ると、楽譜から気持ちを読み取りやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 記号と意味を線でむすぼう

p	●	● ア. その音だけ強調する
f	●	● イ. だんだん強く
クレッシェンド	●	● ウ. だんだん弱く
デクレッシェンド	●	● エ. 強く
アクセント	●	● オ. 弱く

2. 記号の意味を書こう

1. pp → _____

2. ff → _____

3. 正しい言葉を選ぼう

1. だんだん強くする記号 → (クレッシェンド / デクレッシェンド)

2. 1つの音だけ強調する記号 → (アクセント / mf)

書いて覚えよう

好きな曲をmpの気持ちで口ずさむ

聞こえる音の強弱を意識する

pからfへクレッシェンドで歌う

手拍子で強弱をつけてみる

強弱ノートに1行書く

家族に強弱クイズを出す

- 1回5分でも、毎日続けることが力になります。
- 大きな声を出すときは、のどを痛めない範囲にしましょう。

発表してみよう・感想を書こう

強弱をつけた歌や演奏を、人に聴いてもらおう。

発表した曲

つけた強弱

工夫したところ

聴いてほしい人

Ken の例

発表した曲 ふるさと／つけた強弱 サビでf／工夫したところ 出だしをpにして対比をつけた

感想を3文で書こう

① 強弱をつけると、～な感じになりました。② とくに、～のところがうまくいきました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

強弱の世界は、ここからさらに広がります。

もっと知りたい人へ

楽譜を見る

好きな曲の強弱記号をさがす

演奏会へ

生の音の強弱を体感する

録音して

自分の強弱を聴き直す

次のステップ

速度記号

音楽の速さの表し方を学ぶ

フェルマータ

音をのばす記号を学ぶ

表現

強弱と速さを組み合わせる

ポイント

- この教材の次は「速度記号」。音楽の速さの表し方を学んでいきます。

書いて覚えよう

強弱記号チャレンジ

教室の外でも、強弱はすぐに楽しめます。

見つけよう

身のまわりの音で**強い音・弱い音**をさがす

表そう

自分の声でpからffまで出してみる

聴こう

好きな曲の強弱の変化に注目して聴く

こたえ

L18 1. 弱く 2. 強く 3. だんだん強く

L33 (例) 強弱記号は、音の大きさ・小ささを表す記号。

L26 p→o f→e クレッシェンド→i デクレッシェンド→u アクセント→a 2. 弱く / 強く 3. クレッシェンド / アクセント

書いて覚えよう

強弱記号 (Season 2 | No.13)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

詳しくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。